



2019年3月期第2四半期 決算説明資料

(注) 見直しに関する注意事項

本説明会・資料における当社グループの今後の計画・見直し・戦略等、将来に関する記載は、当社が現時点において把握可能な情報をもとに判断したものであり、これらは様々なリスクや不確実性が内在しております。

従って、経営環境の変化、未知のリスクの顕在化、およびその他様々な要因により、実際の業績等の結果は大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。



2018年11月6日
兼松株式会社

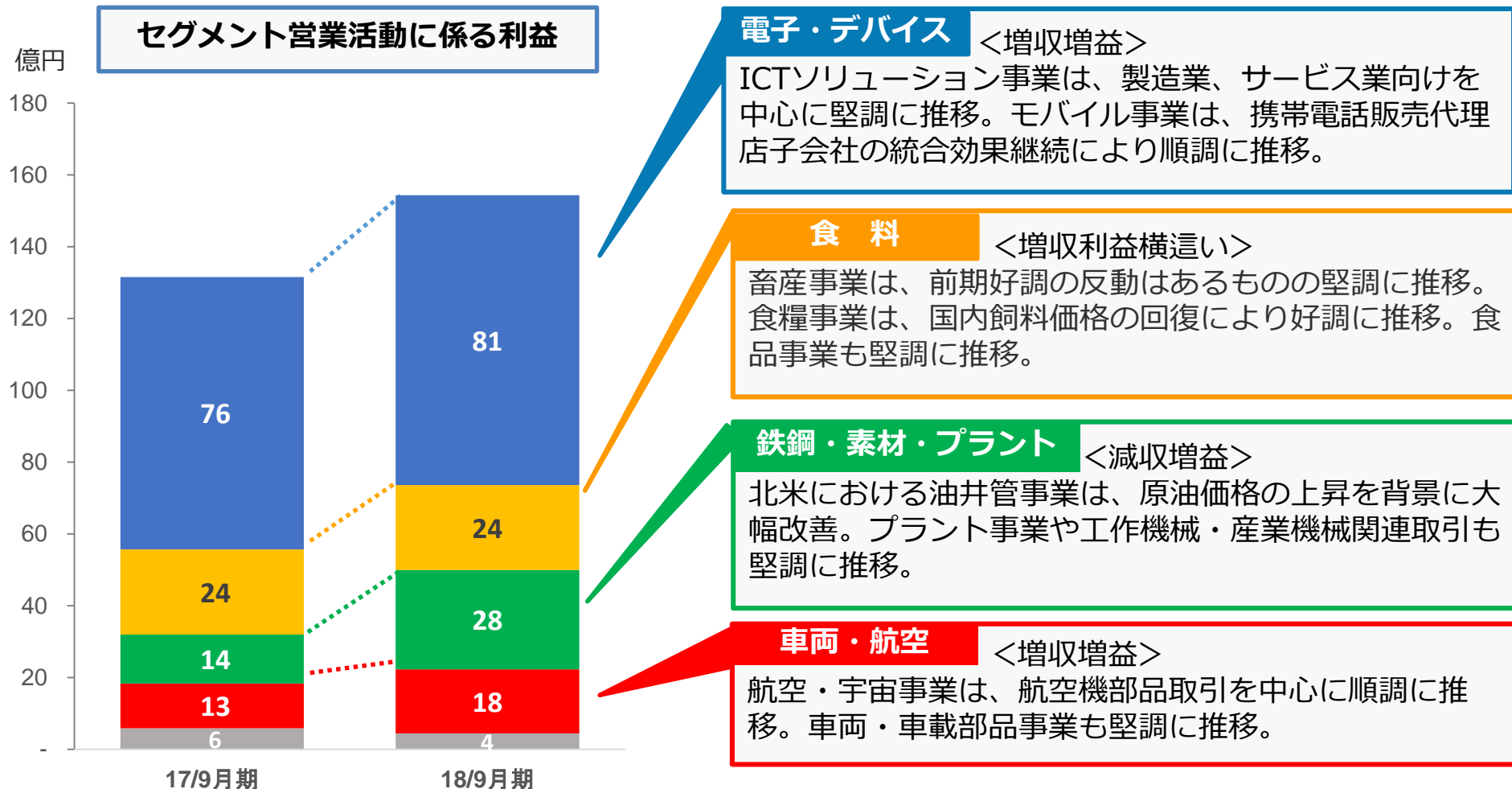
<http://www.kanematsu.co.jp/>

1. 2019年3月期第2四半期 決算概要

✓ 増収増益。四半期利益（親会社の所有者に帰属）は前年同期比18.5%増益。

(単位：億円)	18/3期 2Q実績	19/3期 2Q実績	前期対比
収益	3,352	3,575	+ 222
売上総利益	509	541	+ 32
営業活動に係る利益	131	155	+ 23
金融収支・費用	△ 6	△ 7	△ 1
持分法による投資損益	3	1	△ 3
税引前利益	128	148	+ 20
親会社の所有者に帰属する四半期利益	68	81	+ 13

✓ 鉄鋼・素材・プラントセグメントが牽引し、23億円の増益



- ✓ 利益剰余金の積み上げにより自己資本比率は上昇
- ✓ ネットDERは0.5倍台と引き続き健全な水準を維持

(単位：億円)	18/3月末 実績	18/9月末 実績
総資産	5,199	5,289
自己資本 (※1)	1,160	1,227
1株当たり自己資本 (※2)	1,378円	1,469円
自己資本比率 (※3)	22.3%	23.2%

(単位：億円)	18/3月末 実績	18/9月末 実績
グロス有利子負債	1,373	1,379
ネット有利子負債	590	627
ネットDER (※4)	0.51倍	0.51倍

※1. 自己資本は、資本の「親会社の所有者に帰属する持分」

※2. 一株当たりの自己資本：10月1日付で株式併合（5株で1株）しており、前期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定

※3. 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産

※4. ネットDER = ネット有利子負債 ÷ 自己資本

2. 2019年3月期 見通し

✓ 期初公表見通し達成に向けて順調な進捗を見込む

(単位：億円)	19/3月期 2Q実績	19/3月期 見通し	進捗率
収益	3,575	7,600	47.0%
営業活動に係る利益	155	300	51.5%
税引前利益	148	290	51.1%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	81	165	49.1%

✓ 電子・デバイスセグメントが牽引し、順調に推移する見通し

(単位：億円)	19/3月期 2Q実績	19/3月期 見通し	進捗率
電子・デバイス	81	175	46.1%
食料	24	40	59.0%
鉄鋼・素材・プラント	28	50	55.3%
車両・航空	18	25	71.5%
その他	4	10	46.8%
合計	155	300	51.5%

2-3. 2019年3月期 見通し (サブセグメント利益)

セグメント営業活動に係る利益 見通し

(単位：億円)		19/3月期 2Q実績	19/3月期 見通し	進捗率
電子・デバイス部門	ICTソリューション	47	100	47%
	モバイル	31	60	52%
	その他	2	15	16%
電子・デバイス部門		81	175	46%
食料部門	食品・畜産	10	17	56%
	飼料酪農・穀物	11	23	47%
	その他	3	0	-
食料部門		24	40	59%
鉄鋼・素材・プラント部門	工作機械・産業機械	8	16	47%
	海外	11	14	75%
	エネルギー・化学品 他	10	20	49%
鉄鋼・素材・プラント部門		28	50	55%
車両・航空部門	航空・宇宙	10	10	97%
	車両・車載部品	4	9	47%
	その他	4	6	67%
車両・航空部門		18	25	72%
その他		5	10	47%
合計		155	300	52%

年度末に検収があがるため、利益は下期偏重。見通し通りの着地を見込む。

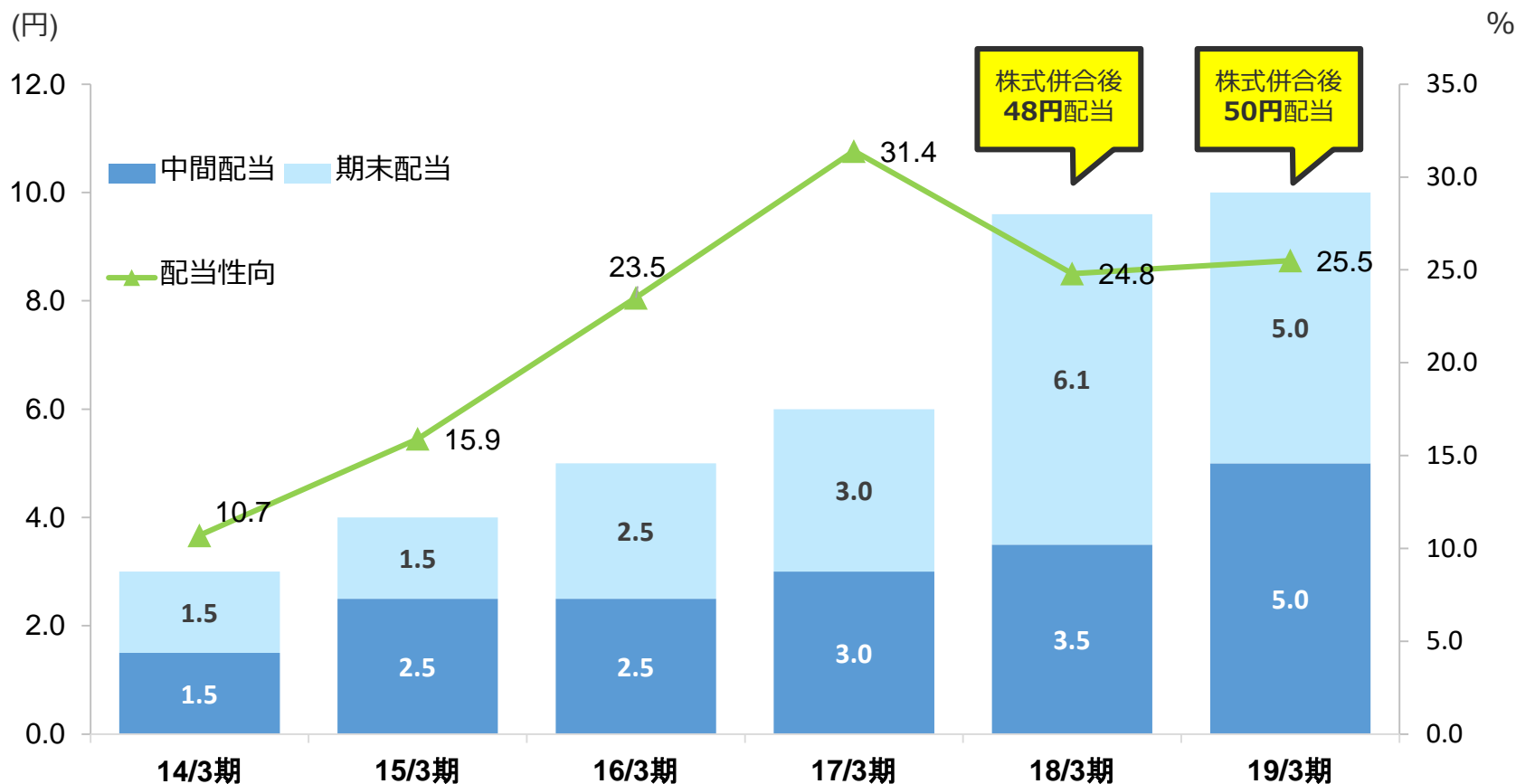
飼料・畜産相場の変動にもよるが、概ね見通し通りの着地を見込む。

下期も不安要素は無く、順調に推移する見通し。

官公庁向け取引により、利益は上期偏重。下期も堅調に推移する見通し。

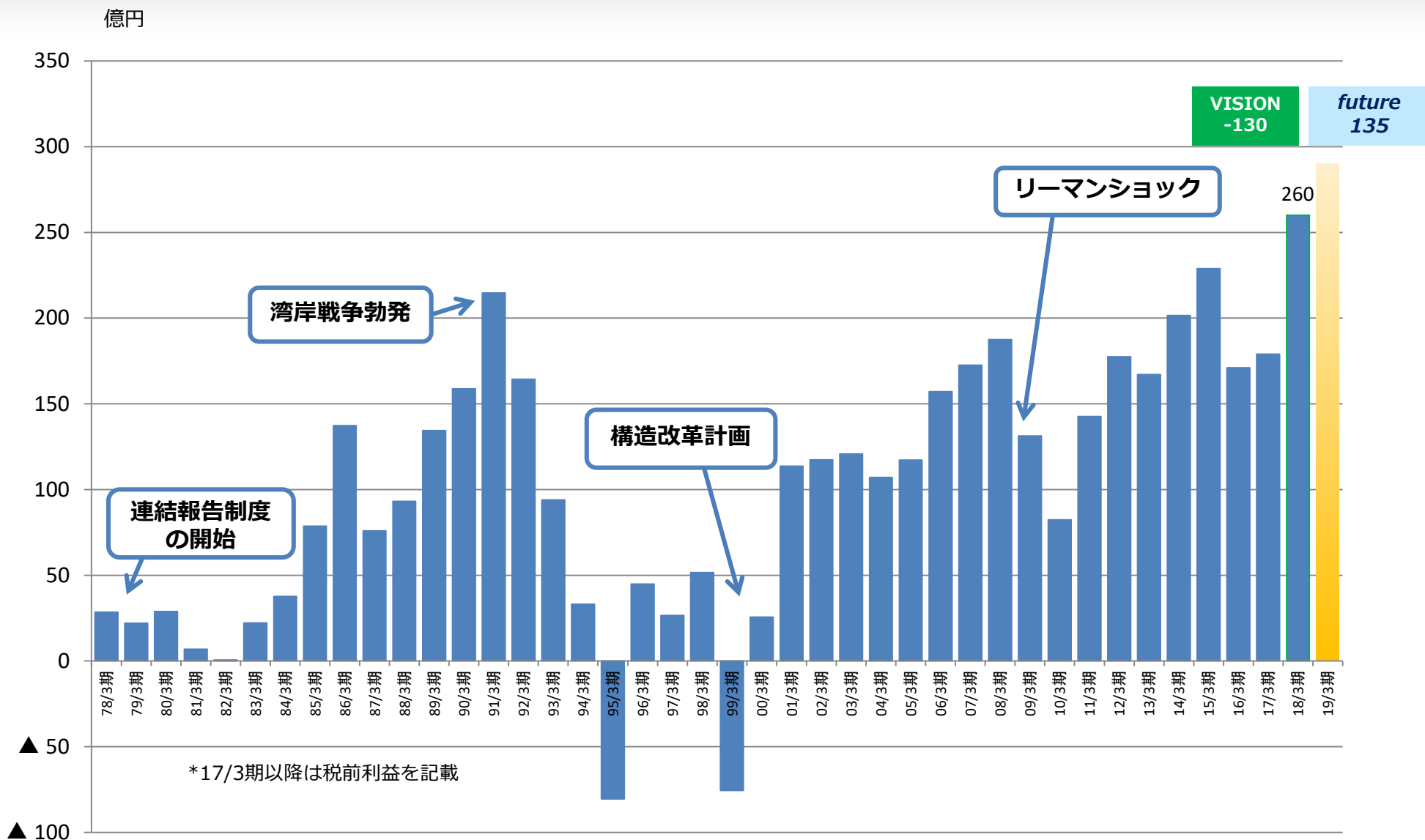
2-4. 2019年3月期 見通し（配当方針）

- ✓ 総還元性向25~30%のレンジにて、安定的かつ継続的な配当を実施
- ✓ 2014年3月期から安定的に配当を継続し、今期は年間50円の配当を予定

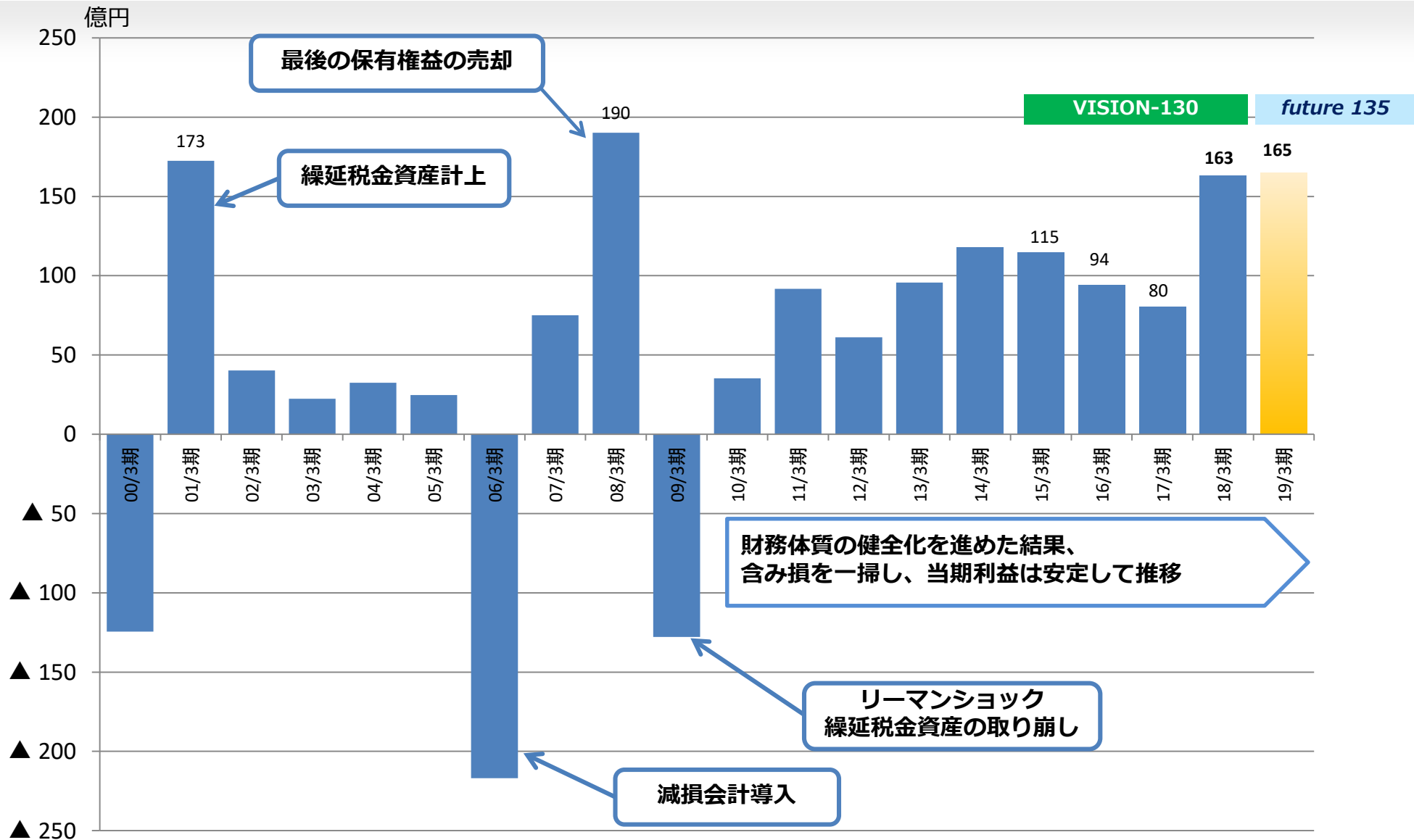


Appendix

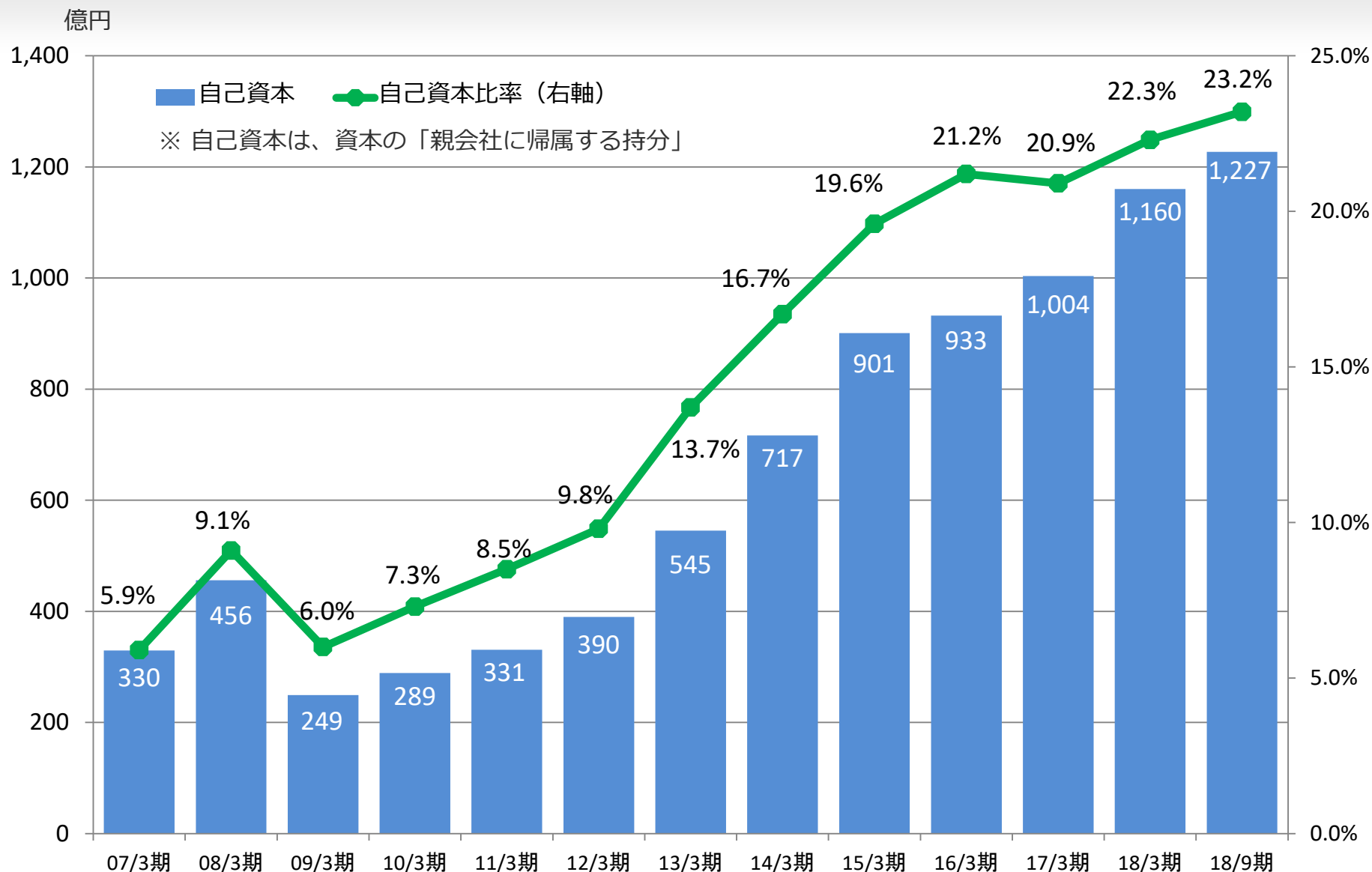
Appendix 1 – 1. 連結経常利益の推移（78/3月期～）



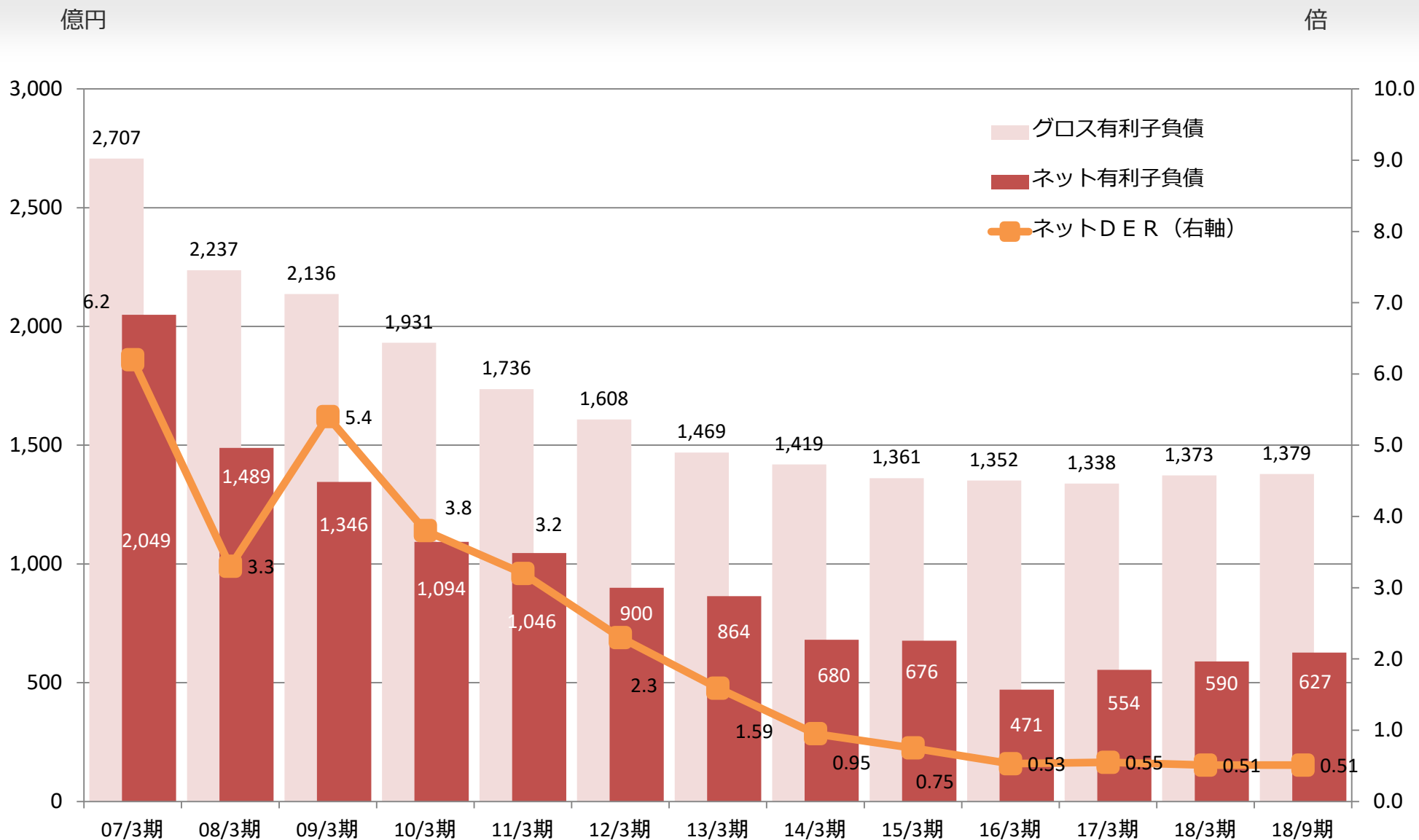
Appendix 1 – 2. 連結当期利益の推移 (00/3月期～)



Appendix 1 – 3. 自己資本と自己資本比率の推移



Appendix 1 – 4. 有利子負債とネットD E Rの推移



Appendix 2. 兼松グループの事業概要

セグメント	主要な事業	主要取扱商品	主要グループ会社
電子・デバイス	半導体部品・製造装置	半導体・液晶パネルおよび製造装置、電子モジュール・部材	兼松エレクトロニクス
	電子機器・電子材料	プリンタおよび関連機器、リチウムイオン電池制御用モジュール	兼松コミュニケーションズ
	ICTソリューション・モバイル	情報・通信関連機器およびサービス、携帯通信端末、 モバイルインターネットシステム・サービス	兼松サステック 兼松フューチャーテックソリューションズ
	セキュリティ機器	防犯カメラ、レコーダー等各種セキュリティ機器	兼松アドバンスド・マテリアルズ
食料	食品	缶詰・冷凍・ドライフルーツ、コーヒー、ココア、砂糖、ゴマ、 落花生、雑豆、ワイン、加工食品、調理食品	兼松新東亜食品 Kanemory Food Service
	畜水産	畜産物、水産物	兼松アグリテック
	穀物・飼肥料・ペット用製品	小麦、大麦、米、コーン、大豆、小麦加工食品、飼料、牧草、 肥料、ペットフード、ペット用品	兼松ソイテック
鉄鋼・素材・ プラント	鉄鋼貿易	各種処理鋼板、シームレスパイプ	Steel Service Oilfield Tubular
	特殊鋼貿易	ステンレス、特殊鋼線材・条鋼	Benoit Premium Threading
	国内鉄鋼・鉄鋼原料	鉄鋼製品全般、鉄鉱石、コークス	兼松トレーディング
	原油・石油製品・ガス	原油、石油製品、LPG、排出権ビジネス	兼松ペトロ
	機能性化学品、 ライフサイエンス	リチウム電池原料、太陽電池関連部材、医薬品・医薬中間体、 機能性食品素材、栄養補助食品	兼松ケミカル 兼松ウェルネス
	プラント・船舶	各種プラント、ODA案件、光ファイバー、 電力・通信プロジェクト、船舶、船舶用機材	兼松ケージーケイ
	工作機械・産業機械	工作機械、産業機械	
車両・航空	車両・車載部品	二輪車、四輪車、車載部品、鋳鍛造部品、建設機械	兼松エアロスペース 新東亜交易
	航空・宇宙	航空機・ヘリコプターおよび部品、衛星・宇宙関連製品	KG Aircraft Rotables

Appendix 3. 主要連結子会社の状況（収益・営業活動に係る利益）

(単位:億円)	事業 内容	持ち分 比率	18/3月期 2Q		19/3月期 2Q	
			収益	営業活動に係る 利益	収益	営業活動に係る 利益
兼松エレクトロニクス	ICTソリューション	58.28%	294	43	329	48
兼松コミュニケーションズ	モバイル	100.00%	582	24	626	31
兼松サステック	セキュリティ機器等	52.89%	63	5	61	4
兼松新東亜食品	食品・畜水産	100.00%	139	2	138	1
兼松アグリテック	飼料酪農	100.00%	58	1	61	1
兼松トレーディング	国内鉄鋼・鉄鋼原料	100.00%	44	2	50	2
兼松ケージーケイ	工作機械・産業機械	97.90%	31	3	47	8
兼松ペトロ	石油製品・ガス	100.00%	78	2	92	1
兼松ケミカル	機能性化学品	100.00%	20	3	22	3
新東亜交易	商社	100.00%	123	6	201	10
Kanematsu USA Inc.	海外現地法人	100.00%	514	6	549	13

Appendix 4. グループ会社の状況

グループ会社の黒字・赤字会社数

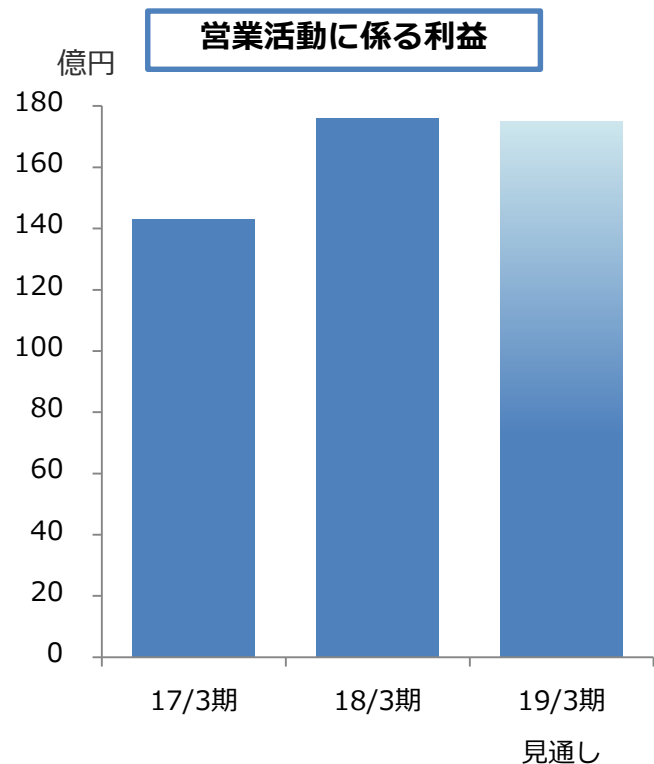
(単位：社)	18/3月期 2Q					19/3月期 2Q					前期対比
	連結子会社		持分法適用		合計	連結子会社		持分法適用		合計	
	国内	海外	国内	海外		国内	海外	国内	海外		
黒字会社	34	30	11	11	86	38	31	10	10	89	+ 3
(黒字比率)	83%	65%	85%	69%	74%	91%	66%	71%	71%	76%	-
赤字会社	7	16	2	5	30	4	16	4	4	28	▲ 2
合 計	41	46	13	16	116	42	47	14	14	117	+ 1

グループ会社の黒字・赤字額

(単位：億円)	18/3月期 2Q					19/3月期 2Q					前期対比
	連結子会社		持分法適用		合計	連結子会社		持分法適用		合計	
	国内	海外	国内	海外		国内	海外	国内	海外		
黒字額	47	11	2	1	61	61	11	1	2	74	+ 13
赤字額	▲ 0	▲ 1	▲ 0	▲ 0	▲ 2	▲ 1	▲ 3	▲ 2	▲ 0	▲ 6	▲ 4
合 計	47	10	2	1	60	59	8	▲ 1	2	68	+ 9

Appendix 5 – 1. セグメント情報（電子・デバイス）

(単位:億円)	18/3月期		19/3月期		増減	
	(2Q実績)	(通期実績)	(2Q実績)	(通期見通し)	(2Q実績)	通期
収益	1,207	2,633	1,278	2,700	+ 71	+ 67
営業活動に係る利益	76	176	81	175	+ 5	▲ 1



19/3月期2Q 実績

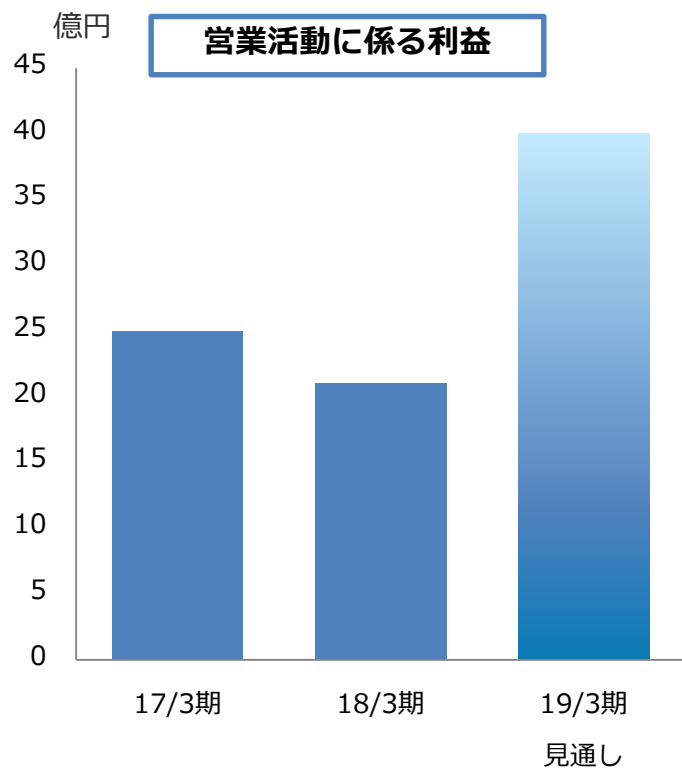
ICTソリューション事業は、製造業、サービス業向けを中心に堅調に推移。モバイル事業は、携帯電話販売代理店子会社の統合効果継続により順調に推移。

19/3月期 見通し

ICTソリューション事業を中心に順調に推移する見通しだが、半導体部品・製造装置事業が市況の影響を受け前期比横ばいを見込む。

Appendix 5 – 2. セグメント情報（食料）

(単位:億円)	18/3月期		19/3月期		増減	
	(2Q実績)	(通期実績)	(2Q実績)	(通期見通し)	(2Q実績)	通期
収益	1,146	2,313	1,216	2,600	+ 70	+ 287
営業活動に係る利益	24	21	24	40	▲ 0	+ 19



19/3月期2Q 実績

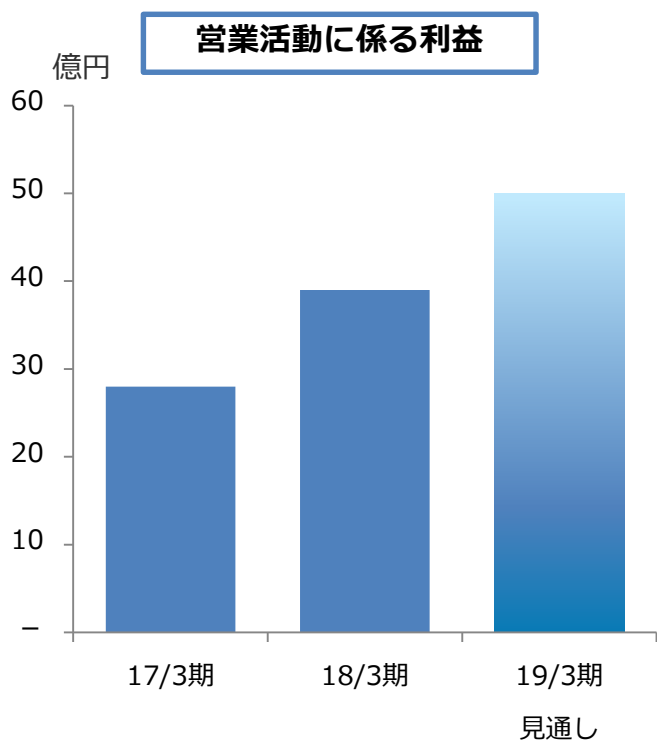
畜産事業は、前期好調の反動はあるものの堅調に推移。食糧事業は、国内飼料価格の回復により好調に推移。食品事業も堅調に推移。

19/3月期 見通し

主に飼料事業の市況回復に伴い、前期比増益となる見通し。

Appendix 5 – 3. セグメント情報（鉄鋼・素材・プラント）

(単位:億円)	18/3月期		19/3月期		増減	
	(2Q実績)	(通期実績)	(2Q実績)	(通期見通し)	(2Q実績)	通期
収益	691	1,531	681	1,600	▲ 11	+ 69
営業活動に係る利益	14	39	28	50	+ 14	+ 11



19/3月期2Q 実績

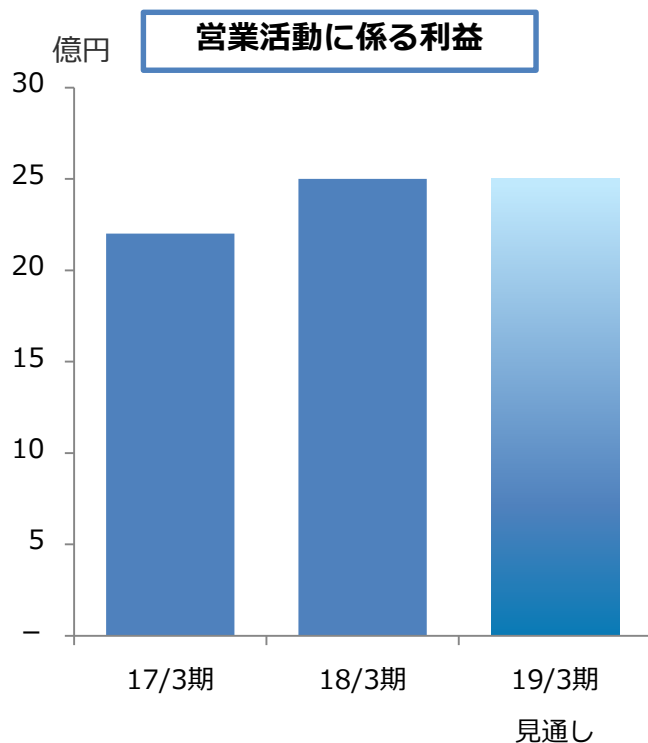
北米における油井管事業は、原油価格の上昇を背景に大幅改善。プラント事業や工作機械・産業機械関連取引も堅調に推移。

19/3月期 見通し

原油市況の回復により、北米油井管事業が伸長の見込み。

Appendix 5 – 4. セグメント情報（車両・航空）

(単位:億円)	18/3月期		19/3月期		増減	
	(2Q実績)	(通期実績)	(2Q実績)	(通期見通し)	(2Q実績)	通期
収益	245	545	339	600	+ 95	+ 55
営業活動に係る利益	13	25	18	25	+ 5	+ 0



19/3月期2Q 実績

航空・宇宙事業は、航空機部品取引を中心に順調に推移。車両・車載部品事業も堅調に推移。

19/3月期 見通し

航空・宇宙事業、車両・車載部品事業ともに堅調に推移する見込み。